

学校名 [高砂中学校]

[中] 学校 [2・3] 年版 単元名 [仙台平野 災害の歴史を学ぼう] P 30～31

教科・領域名 [社会] [時間 50 分]

主な学習活動 (実際に行った活動)

指導の実際

1 東日本大震災について振り返る

東日本大震災 私たちの地域も多くの被害を受けました。

私たちの記録と記憶を伝えるためにも、私たちの故郷仙台の歴史を調べてみましょう。

2 「浪分神社」の由来について調べる

課題① なぜ「浪分神社」というのでしょうか?

- ・ 単なる伝説ではない。
- ・ 地図を見ると東日本大震災の津波到達地点と一致している。

3 身近な地域で起きた過去の大地震・大津波を調べる

課題② (1)弥生時代の津波

(2)平安時代の地震と津波

(3)江戸時代の地震と津波

- ・ 「杵形遺跡」に砂に埋まった水田跡が発見された。
- ・ 貞観地震では、東日本大震災とほぼ同じ場所に津波が到達している。
- ・ 慶長三陸地震では「駿府政事録」に被害の様子が詳しく記されている。

課題③ 宮城県の過去の大災害の種類と発生数を数字で記入してみよう。

- ・ 19～20世紀には何回も災害が発生している
- ・ 明治、昭和の三陸大地震でも大きな被害があった。

4 まとめ

課題④ 課題①～③を通して気づいたこと、注意すべきことを考えてみよう

- ・ 平安時代や江戸時代にも東日本大震災と同じ位の規模の地震・津波が発生しことがわかった。
- ・ 大雨や台風などの災害も数多く発生している。
- ・ 100年に一度の割合で大災害が発生している。
- ・ 昔の人の記録や体験などを活用して、いつ災害が起きても対応できるよう準備すべきだと思う。

○ 学習形態 グループ学習(6人)

○ 指導に当たって

被災により多くの被害を受けている生徒が多く在籍しているため、生徒一人ひとりの被災状況を念頭に指導を進める。

○ 指導の手引きと変更した点 本校の被災状況や中野地区の現在の様子などを加えた。

○ 副読本以外の資料 パワーポイント(電子黒板、高砂中防災ノートを活用した。

○ 別紙ワークシートの使用

- ・ 高砂中防災ノートを併用しながら地震が起きた年代、マグニチュード、文献、被害の様子などをまとめる。
- ・ 過去の災害の件数を数字でまとめる。

○授業の様子(写真)



○生徒の感想(一部抜粋)

- ・ 直接被災体験した自分たちが、今度は災害の語り部として多くの人々に語り伝えることが大切だと思う。
- ・ 自分たちの地域で自然災害に関する伝承や施設などを調べてみたい。
- ・ 東日本大震災の経験を直接伝えることができる世代なので、災害の歴史をふまえながら後の人にしっかりと伝えていきたい。

社会科ワークシート 「仙台平野 災害の歴史を学ぼう」

年 組 番 氏名()

課題 1	なぜ「浪分神社」というのでしょうか？

課題 2	身近な地域で起こった過去の大地震・大津波を調べてみよう			
大地震・大津波	いつ頃 (年代)	マグニ チュード	当時の記録や証拠 となるものは？	どのような被害があったのか？
弥生時代 の津波		/		
平安時代				
江戸時代				

課題 3	防災ノート p2 を見て、宮城県の過去の大災害の種類と発生数下の表に数字を入れてみよう。
-------------	--

課題 4	課題 1～3 を学習して、気づいたこと・注意すべきことをあげてみよう
-------------	------------------------------------

課題 3	地震	津波	大雨・洪水	大風	課題 4 気づいたこと・注意すべきこと
8 世紀					
9 世紀					
15 世紀					
16 世紀					
17 世紀					
18 世紀					
19 世紀					
20 世紀					
合 計					